

指定校番号	28025	学級活動	児童会・生徒会活動	○	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立五日市小学校	校長	高田 伸	生徒指導主事	木梨 智紀
-----	------------	----	------	--------	-------

取組事例名 『たてわり活動と五小っ子タイム』

取組のねらい 『 うれしい！ 楽しい！ 大好き！ 』
(喜んでくれて) (遊ぶことが) (友達, 上級生が)

○児童が主体となって遊びを計画・実施することで、仲間とのかかわりを促したり、成功体験を増やして達成感を味わわせたりする。
 ○上級生には、リーダーシップや思いやりの心を持たせ、下学年には、上級生に対する憧れの気持ちを持たせる。また、五日市小学校という集団の一員であるという気持ちを持たせる。

取組の具体的内容 『 五小っ子タイムをみんなで楽しむ 』

○毎週木曜日の 8:15 から 8:35 までの 20 分間を、『五小っ子タイム』とし、学級遊びや、たてわりグループでの活動、ペア学年との異学年交流の時間にする。
 ○『五小っ子タイム』を利用して、たてわりグループでの集団遊びを年 5 回行う。遊びの内容は、事前に五小っ子タイムで 6 年生が中心となって、グループ内で話し合っ決めて。遊びの準備や進行も、6 年生が行う。
 ○校内ウォークラリーを 12 月に行う。5, 6 年生がリーダーとなり、下学年を楽しませたり、ルールやマナーを守らせたりする。



取組の課題・創意工夫 『 学年への負担の軽減 と 児童へのフィードバック 』

○準備時間等で、特定の学年に過剰な負担にならないように配慮する必要がある。ウォークラリーは、ゲームを簡素なものとし、当日の各ゲームコーナーの運営は教師主導で行うなど、児童の負担を軽減する。
 ○たてわり遊びの指導は、6 年生の担任だけでなく、学校内の全教員で行っている。6 年生の児童は、遊びの計画を立てた後、担当の教員の所へ報告に行き、遊び道具や場所の調整や、アドバイスをもらう。たてわり遊びの終了後には、振り返りの時間をとり、担当の教員から、肯定的で共感的な評価をしてもらう。
 ○2 回目のたてわり遊びの後に、1～5 年の児童は、同じグループの 6 年生に向けて、お礼の手紙を書く。また、最後のたてわり遊びの後には、教員たちから 6 年生に向けて、お礼と励ましの言葉を文章でもらい、6 年生の学級に掲示する。自分たちが感謝され、役立っている実感を得られるような活動を設定することで、自己有用感、自己存在感を高める。



取組の成果（効果）『 学級経営や登校刺激にもつながる 』

○たてわりグループでの遊びを繰り返すことで、回を追うごとに遊び方が上手になっていった。上学年の児童は、説明やゲームの進行の仕方、ルールを守らせるための思いやりのある言い方などを学び、下学年は、ルールを守ることで楽しく遊ぶことができることや、友達と遊ぶことの楽しさを再確認することができた。

○学校として五小っ子タイムを利用した学級内の集団遊びを推奨することで、教員たちも児童と一緒に外遊びを行う姿が見られるようになった。その結果、クラスの中に暖かい雰囲気生まれ、普段は外遊びや、集団での遊びに参加しにくい児童も、仲間と一緒に遊ぶきっかけになったりした。また、学級内の児童の人間関係の把握にも役立った。

○「木曜日は五小っ子タイムがあるから楽しい」「木曜日は休みたくない」など、児童からの好意的な意見が多く聞かれている。

○チーム対応している遅刻しがちな児童の中には、木曜日の遅刻数が非常に少ない児童もいる。

○月曜日から金曜日までの欠席人数を調べると、木曜日の欠席人数が最も少ない（235人）最も多いのは月曜日で336人。



今後の展開『 遊び以外にも 』

○年度最後のたてわり遊びは、5年生が主体となってい、6年生がアドバイスやサポートをするなど、来年度につながるような取組を行っていきたい。

○たてわり活動を遊びだけに限定せず、作品作りや、お互いの成長を認め合うような場の設定、清掃活動など、様々な場面で行うことや1～6年までの大きな集団だけでなく、ペア学年での異学年交流を行うことで、より効果的にねらいに迫れると考えており、来年度に向け計画して行きたい。



他校へのアドバイス『 遊びは学び 』

子どもたちにとって、遊びも勉強。遊びから学ぶことはたくさんあると思います。校長先生のリーダーシップのもと、忙しい学校生活の中で少しずつ時間を確保し、子どもも教員も楽しい活動を、一緒に仕組んでいきましょう。